

# 清原東小学校地域協議会

## 土曜日を利用した地域の自然体験

### （オオムラサキの幼虫探し）を開催

- 学校休業日の土曜日を利用して、子どもが日頃触れることのない、地域の自然に触れてもらうため、地域協議会や自治会のほか、環境保全に取り組む「氷室みどりの郷」の協力を得て、自然豊かな地域の教育資源であるオオムラサキの幼虫探しが行われました。
- 当日は、小学校の多目的室に集合し、地域協議会の委員も務める「氷室みどりの郷」の方から、オオムラサキの生態や飼育方法、幼虫を探すためのポイントを教えてもらい、その後、グループに分かれて氷室町内の幼虫の生息地へ向かい、保護者と子どもと一緒に幼虫を探しを行い、交流を深めました。
- 幼虫探しが終わると、公民館に集まり、婦人会が用意してくれた豚汁とお餅を食べながら、グループごとに見つけた幼虫の数を発表し、称え合ったり、感想を言い合うなど、オオムラサキをとおして、大人と子どもの交流が図られました。



オオムラサキの説明



保護者と子どもと一緒に幼虫探し



地域の方も一緒に飼育舎を見学

#### 【学校の声】

清原東小学校は、オオムラサキの幼虫探し、花いっぱい運動など、「氷室みどりの郷」の方をはじめとする、地域の方の支援が充実している地域です。

そのため、地域協議会の委員や「氷室みどりの郷」の方は、子ども達との日常的なかかわりの中で、子ども達に顔と名前を覚えられ、昆虫が好きな児童の憧れの存在になっています。

#### 【地域協議会の声】

平成19年からオオムラサキの飼育を始め、平成20年には農林水産省の補助を受け、氷室弁天沼公園の側にオオムラサキの飼育舎を建てました。オオムラサキの幼虫探しや飼育、放蝶を子どもや地域の大人を巻き込んで実施しています。

将来、子ども達が大きくなったら清原に住んでもらいたいですし、オオムラサキを見たり、話題に出たときに、清原のことを思い出してくれたら嬉しいです。

#### 【いいね！】

- 地域の教育資源であるオオムラサキを活用し、地域の大人が子ども達と交流しながら、昆虫の生態を学習するとともに、地域への愛着を深めることができた。
- より多くの方が参加できる土曜日に開催することにより、地域協議会や「氷室みどりの郷」、公民館、婦人会など多くの参加者が得られ、参加者同士のネットワークが広がるなど、充実して活動ができた。

